

(参考) 第2回日ウズベキスタン共同作業部会

1 概要

- 平成27年10月の安倍総理のウズベキスタン訪問時に、農業・食料分野における協力関係の強化を目的に覚書を締結。当該覚書に基づき、平成28年3月に第1回共同作業部会をタシケントで開催。平成29年2月14日に第2回共同作業部会を東京で開催。
- ウズベキスタン側より、農業・食品分野の現状と潜在力、①人材育成のための大学間協力、②野菜・果実の輸出、③園芸分野の効率化、④養蚕・生糸生産等の農業協力の優先分野について説明。日本側より、塩害対策、養蚕協力、自治体による交流等取組の紹介に続いて、民間企業からのプレゼンを実施。両国民間企業の交流会や農業・食品産業等の現場視察も実施。
- 今回の提案内容や民間企業の関心等を踏まえ、今後、具体的な案件の成立に向けて検討を進めるとともに、次回は、タシケントで開催する方向で、外交ルートを通じて調整していくことを確認。

2 出席者

- 日本側：
柱本農水省参事官(共同議長)、JIRCAS、
JICA、JETRO、農業・食品関係企業等25社
- ウズベキスタン側：
コシモフ農業水資源省国際協力局副局長(共同議長)
タシケント農業大学長及び民間企業5社

